

テクトロニクスは、組込み機器開発に携わるエンジニアを支援します

## 「ガンバレ！ものづくりJAPAN」

デバッグ時間は、もっと減らせる

コストだって、もっと減らせる

アナログ／デジタル、シリアル／パラレル混在環境に最強のオシロスコープMSO/DPOシリーズ。その最高峰である3つのモデルを期間限定の**15%オフ**でご提供します。

新規でご購入の方にもれなく **キャンペーン期間：2009年5月25日～2009年7月31日**

MSO/DPO4000、**新製品** MSO3000が、

今だけの **15%オフ**



最大**37万円**もお得です



**15%オフ**  
最大37万円  
お得



■ 15%オフ対象製品：MSO/DPO4000シリーズ、**新製品** MSO3000シリーズ・オシロスコープ \*DPO3000シリーズは対象機種に含まれません

オシロスコープ製品名	型番	価格	15% Off	Ch数	画面	周波数帯域	サンプリングレート	レコード長	波形取込みレート	おすすめポイント
<b>MSO3000シリーズ</b> <b>新製品</b> すべてのエンジニアに「Myベスト・サイズ」  幅:417mm 高さ:203mm 奥行:137mm 質量:4kg	MSO3012	82.5万円～	<b>70.1万円～</b>	2+16	ワイド9型 [カラー]	100MHz	2.5GS/s	5Mポイント	50,000波形/秒	<b>全シリーズ共通</b> ■ シリアルデバッグを効率よく ■ セットアップ/ホールド・トリガ ■ 次世代バス表示 (MSOシリーズ) <b>3000シリーズ</b> ■ 業界初9型ワイド画面 ■ 全チャンネル5Mポイント・レコード長 ■ 75Ωターミネーション内蔵 ■ パワー解析 (オプション) ■ 最高8.25GS/sの高速サンプリング (MagniVu) <b>4000シリーズ</b> ■ クリアで見やすい10.4型XGA画面 ■ 全チャンネル10Mポイント・レコード長 ■ パワー解析 (オプション) ■ 全チャンネル独立スレッショルド (MSOシリーズ) ■ 最高16.5GS/sの高速サンプリング (MagniVu) (MSOシリーズ)
	MSO3014	99.4万円～	<b>84.5万円～</b>	4+16		300MHz				
	MSO3032	118万円～	<b>100万円～</b>	2+16		500MHz				
	MSO3034	144万円～	<b>122万円～</b>	4+16	10.4型 [カラー]	1GHz	5GS/s	10Mポイント	50,000波形/秒	
	MSO3054	188万円～	<b>160万円～</b>	4+16		350MHz				
<b>MSO/DPO4000シリーズ</b> 究極の「オールインワン」デバッグ・ツール  幅:439mm 高さ:229mm 奥行:137mm 質量:5kg	DPO4034	133万円～	<b>113万円～</b>	4	10.4型 [カラー]	350MHz	2.5GS/s	10Mポイント	50,000波形/秒	
	DPO4054	158万円～	<b>134万円～</b>			500MHz				
	DPO4104	198万円～	<b>168万円～</b>	4+16	10.4型 [カラー]	1GHz	5GS/s	10Mポイント	50,000波形/秒	
	MSO4034	157万円～	<b>133万円～</b>			350MHz				2.5GS/s
	MSO4054	198万円～	<b>168万円～</b>			500MHz				
MSO4104	248万円～	<b>211万円～</b>	1GHz	5GS/s						

I<sup>2</sup>C/SPI、CAN/LIN、RS232、I<sup>2</sup>Sなどをワンボタンでデコード  
**バス解析モジュールはすでにお持ちですか？**

**この機会に！**

MSO/DPOシリーズのパフォーマンスを最大限にご活用いただくため、解析モジュールのご利用を強くおすすめします。詳細については、裏面をご覧ください。

「デバッグ時間は、もっと減らせる」

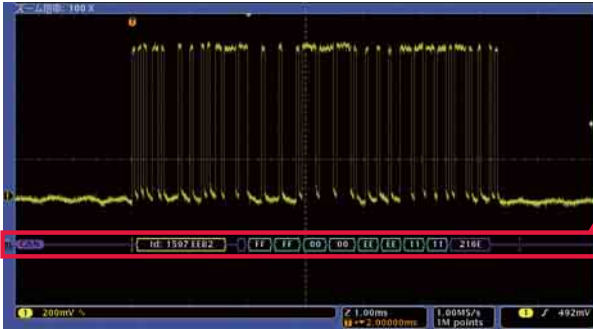
## テクトロニクスMSO/DPOシリーズ：バス解析モジュールの魅力

### ■ 膨大な時間を要するシリアル・バス解析を大幅に効率化 (MSO/DPOシリーズ)



- シリアル・バス・データを取込み、バス表示 I<sup>2</sup>C/SPI CAN/LIN RS232 I<sup>2</sup>S など
- デコード値はトリガ条件や検索条件としても利用可能
- デコード結果をイベント・テーブルで一覧表示

CANバスの表示例



#### タイム・スタンプ

トリガ・ポイントからの経過時間を表示。データ送信タイミングがひと目でわかる

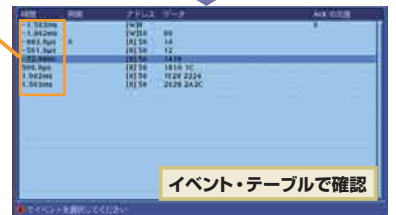
#### CANバス表示例

CAN信号のフレームの開始、フレーム・タイプ（データ、リモート、エラー、オーバーロード）、識別子（標準または拡張）、データ、識別子とデータ、フレームの最後またはアクノレッジを表示

I<sup>2</sup>Cバスの表示例



アナログ入力されたI<sup>2</sup>Cの信号をバス表示



イベント・テーブルで確認

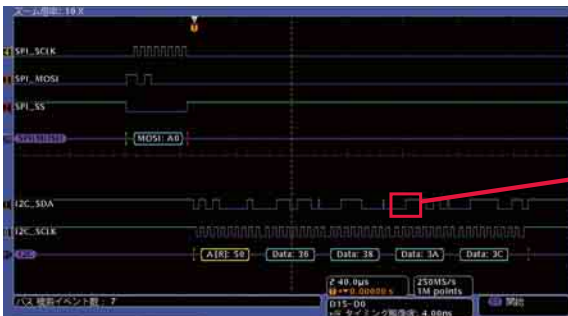
### ■ MSOなら、さらに効率アップ



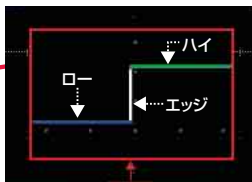
- デジタル・チャンネルでもアナログ・チャンネル同様のバス解析が可能
- 複数のシリアル・バス信号を取込みバス表示
- 次世代バス表示でロジックの状態が見やすい
- パラレル解析も充実

16チャンネルのデジタル・プローブが付属

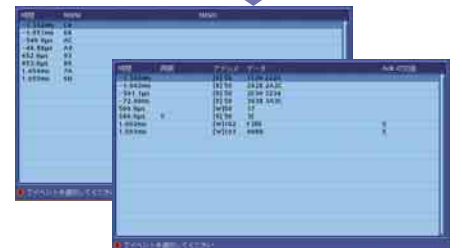
16デジタル・チャンネルを使いI<sup>2</sup>CとSPIバスを同時に解析した例



#### ロジックの状態を一目で確認



I<sup>2</sup>Cのスタート・ビットでトリガ



I<sup>2</sup>C、SPIのイベントをイベント・テーブルで確認

数万画面にも及ぶ膨大な波形情報。「水平軸ノブを指で回して延々スクロールするの!?!」

**Wave Inspector®** (ウェーブ・インスペクタ) があればそんな面倒は一切ナシ

見たいイベントやパケット内容をキーに自動検索

[www.tektronix.co.jp/wi](http://www.tektronix.co.jp/wi)

[www.tektronix.co.jp](http://www.tektronix.co.jp)

■ 記載内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

■ 記載価格は2009年6月現在 (税抜)。

© Tektronix 2009年6月